

第5回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会

日時 平成27年11月27日（金）

午後1時30分

場所 宮古市役所分庁舎 3階 大会議室

次 第

1 開会

2 議題

（1）宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）について

（2）宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想（案）について

（3）その他

3 その他

4 閉会

.....

次回の開催予定

〔第6回〕

日時：平成28年2月 日（ ）

場所：宮古市役所

1 宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）について

1 施設面積 資料1

施設名	基本計画時	前回提案面積 (10/9)	今回提案面積/面積比
①市民交流センター（仮称）	4,400 m ²	4,192.41 m ²	4,693.92 m ² /32.7% (ピロティ 344.65 m ²) (北西部の庇 163.38 m ²)
②市本庁舎	9,000 m ²	8,304.50 m ²	8,376.54 m ² /58.3% (ピロティ 60.60 m ²)
③保健センター	950 m ²	1,238.82 m ²	1,288.49 m ² / 9.0% (ピロティ 9.44 m ²)
④ピロティ（防災広場）	0 m ²	※405.72 m ²	各施設に按分
合 計	14,350 m ²	13,735.73 m ²	14,358.95 m ²

※前回提案時は、ピロティの面積を合計面積に合算していません。

【面積の計算方法】

関係省庁と協議の結果、各施設で共有する諸室やスペースについては、整備費用の財源を按分する必要が生じたため、本庁舎内の発電機室、電気室及び市民交流センター（仮称）内のエレベーター、階段、廊下の一部等は共用部とし、それ以外の専用部の面積比により按分しました。

また、ピロティと市民交流センター（仮称）北西部の庇は、法令上、床面積に算入されることから、市民交流センター（仮称）などの面積に加えました。

それらの合計面積の比率により、車路や一般駐車場の外構共用部も財源が按分されます。

【内訳】

	専用部	共用部	合計
①市民交流センター（仮称）	4,449.29 m ²	244.63 m ²	4,693.92 m ²
②市本庁舎	7,955.08 m ²	421.46 m ²	8,376.54 m ²
③保健センター	1,238.84 m ²	49.65 m ²	1,288.49 m ²
合計	13,643.21 m ²	715.74 m ²	14,358.95 m ²

2 主な変更点（市民交流センター） 資料2

- 避難受入場所となる多目的ホールを1階から2階に変更しました。ホールは、講演会、会議、展示会等の様々な活用方法が想定されます。天井高は当初計画8.5mから5.5mに見直し、整備費用の削減を図ります。
- 建物（構造体）の柱1スパン分の面積を削り、削った部分に災害時の物資搬出入用の屋根付きのプラットフォームを整備します。防災備蓄倉庫・機材倉庫のフロアレベルは、その他の床より50cm高く設定し、洪水時の浸水を防ぐほか、貨物自動車のパワーゲートを使った物資の搬出入にも対応する計画とします。
なお、プラットフォームは、平常時は、一般駐車場として活用し、基本計画時点で必要数量として試算した一般駐車場台数の140台を確保します。（前回122台＋今回増18台）
- トイレ入口の男女の動線を分け、女子用のトイレブースの数を増やします。

3 その他の計画内容（エコボイド） 資料3

・庁舎中央に、約9.6m×7.2mの吹き抜けを設けることで、自然採光と自然通気を図ります。
室内では人員や事務機器からの熱により建物内外で温度差が発生しますが、吹き抜けに面した窓から自然換気を図ることで、空調コストを抑制します。

近年は省エネルギー手法の一つとして、全国の市町村の庁舎整備にも採り入れられており、夏季も比較的冷涼な北海道・東北地方においては、導入効果が高いことが立証されています。

なお、冬季は、暖房効率の低下が懸念されますが、暖気を遮断する垂れ壁を設置するほか、上部に溜まった熱を回収し再利用することで、ランニングコストを抑える計画です。

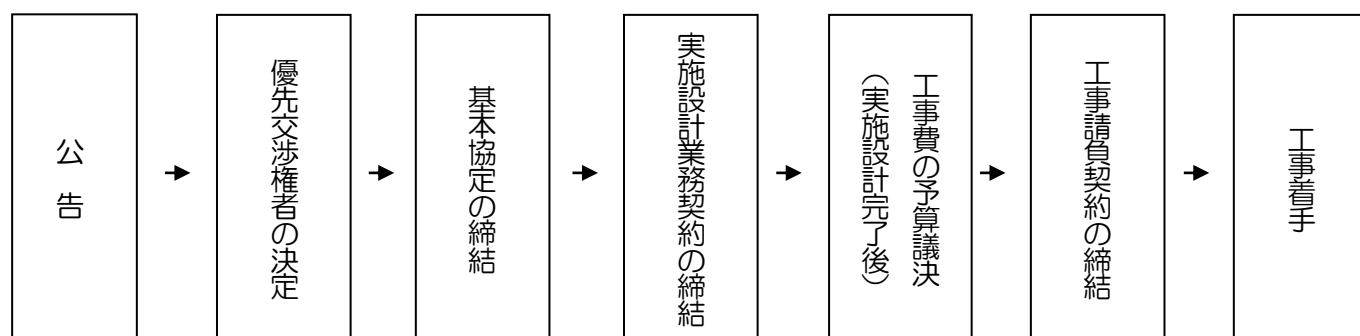
※参考1 基本設計業務の契約状況

契約者 株式会社久米設計 東北支社（仙台市青葉区中央三丁目10番19号）

契約金額 79,920,000円（税込）（変更後 77,972,760円）

履行期限 平成27年11月6日 （変更後 平成27年12月7日）

※参考2 設計・施工一括発注のフロー



※基本協定により、実施設計者は工事の契約予定者となり、公告時の上限額の範囲内で設計業務を行います。

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に関する市民説明会 開催概要

1. 開催状況

開催日時	開催場所	参加者数
10月19日（月）19：00～20：10	川井生涯学習センター	4名
10月20日（火）18：30～20：05	田老公民館	6名
10月22日（木）18：30～19：15	新里福祉センター	5名
10月23日（金）19：00～20：10	重茂公民館	8名
10月26日（月）18：30～19：25	花輪農村文化伝承館	17名
10月27日（火）18：30～19：25	津軽石小学校	12名
10月28日（水）18：30～19：35	崎山小学校	8名
10月29日（木）18：30～20：30	市役所本庁舎	55名
合 計		115名

2. 説明事項

- (1) 基本設計（案）について
- (2) 事業用地の取得について（土壌汚染対策）

3. 意見及び質疑事項【項目別の意見等数、内容】

基本設計（案）項目	意見	質疑	主な内容（・1人、◎2人、●3人）
1 事業計画概要	—	—	
2 基本方針	—	—	
3 計画概要	—	—	
4 仕様概要書	—	—	
5 配置計画	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の利便性確保には駐車場が不足 ・目的外（駅利用者等）の人が駐車場を使うのでは ・出逢い橋から施設に入れる立体駐車場はどうか ・庁舎と多目的ホールが併設され利用者の実感は ・施設へのアクセス路は1か所だけか（災害時支援活動への配慮は） ・屋上へのヘリポート整備は
6 施設構成	—	—	
7 平面計画	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員駐車場の有無 ・職員の通勤方法は（駐車場はどこにつくるか） ・立体駐車場の有無 ・5階議会フロアの展望回廊は市民が楽しみながら地域を理解するスペースに
8 イメージパース	—	—	
9 断面計画	—	—	
10 環境・防災計画	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防火対策（近隣市街地も含めて） ・建物外部への電光掲示設置による災害関連情報等の発信 ・1～6階まで吹き抜けた場合の圧迫感、恐怖感、火災発生時の煙炎は心配ないか ・居住域空調の暖房設定温度は
11 ユニバーサルデザイン計画	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・避難通路（自由通路）からのアクセスで駐輪場は◎避難通路（自由通路）の利用時間帯 ・避難通路（自由通路）は誰でも利用できるか ・避難通路（自由通路）は車いすの利用は

			<ul style="list-style-type: none"> ・避難通路（自由通路）の計画は素晴らしく自慢だ ・駅ホームに繋がる避難通路（自由通路）には ・正面玄関の車寄せ部に屋根を突き出し雨雪に濡れないように
12 構造計画	—	1	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時対策は
13 概算事業費と財源内訳・事業スケジュール	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・返済の可否、返済額、期間は ◎人口減少で将来負担を懸念
14 事業用地の取得（汚染土壌対策）	—	1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染土壌の処理方法 ・汚染土壌の処理場 ●市が有害物質除去をすべき必要性 ◎有害物質の発生由来 ・汚染土処理で掘削深、埋戻し土はどこからか ・有害物質はどの位の深さにあるか ・J R分は何m掘り下げるのか ・有害物質があることはいつ分かったか ・J Rの土地以外にも有害物質があったのか ・除染する量、期間、場所は ・J Rはどこの業者に処理を頼むのか ・処理量が多くキャパシティを超えているのでは
※ 計画案の全般的なもの	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の保健センターの役割 ・諸室利用の料金の有無 ・事業計画地に懸念（洪水対策） ・アイオン台風の教訓で洪水対策をしっかりと考慮 ・先進事例に学び防災拠点を前面に安全安心な施設に ・市民説明会の開催はいつから予定されていたか ・新施設から半径1 kmの範囲に老朽化が進む公共施設がある、人口減少・財政負担を考え思い切って対応を ・広報10/1号の市民アンケートの記事で、関心度が低いのはなぜかと思った ・大きな遊技場と隣接して不釣り合い ・交通量の増による混雑をどう考えるか ・八幡沖踏切を交差する市道改良を ・耐震診断は何社で調査したか
※ 計画案への賛否 ※ に関するもの	6	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の早期実現 ・財源あるうちに整備を ・市役所の位置を変える条例は特別多数議決が必要、反対者が出ないよう願う ・計画に大賛成、今でなければできない、駅近接、併設のホールがある施設も良い ・是が非でも計画の方向で整備されたい（廃棄物処理はしっかり） ・建設に賛成
※ 計画案に関連した事業など	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎現庁舎の跡地はどうなるか ・現庁舎は使うか、経費は ・現仮設保健センターはどうするか ・まちづくり市民会議は、なぜ40歳未満を対象としているか ・交通量の増加に対応するため、小山田橋を渡り切った土手から八幡宮を結ぶ道路整備を考えては ・産業振興、ソフト面の改革が必要
合 計	2 3	4 3	

**宮古市中心市街地拠点施設整備事業
基本設計（案）に対する市民意見公募
（パブリック・コメント）の実施結果について（速報）**

- 1 実施期間 平成27年10月18日から平成27年11月6日まで
- 2 意見提出方法 投函・持参、郵送、ファックス、電子メール
- 3 提出状況 投函・持参 1通、ファックス 1通、電子メール 1通 合計 3通（20件）
- 4 意見概要 以下のとおり

【項目別の意見等数、内容】

基本設計（案）項目	意見	質疑	主な内容
1 事業計画概要	1	—	・回遊性の向上（駅北からの自動車乗入道路の整備）を
2 基本方針	—	—	
3 計画概要	—	—	
4 仕様概要書	1	—	・一時避難所となる市民交流センター（仮称）の諸室の床材に配慮を
5 配置計画	2	—	・施設の向き（正面性）と駐車場の配置、安全対策を ・屋根付駐車場（子ども連れの車両に配慮）増を
6 施設構成	—	—	
7 平面計画	—	2	・市民交流センター（仮称）内の事務室の機能は ・市民交流センター（仮称）の諸室の管理主体は
8 内観イメージパース 外観イメージパース	4	—	・建物の見栄えと外装の工夫を ・避難通路（自由通路）の内装の工夫を
9 断面計画	—	—	
10 環境・防災計画	1	—	・ライフライン代替設備（耐震性緊急貯水槽の使用）
11 ユニバーサルデザイン 計画	1	1	・避難通路（自由通路）からのアクセスで駐輪場は ・避難通路（自由通路）と駅舎との直接の連絡を
12 構造計画	1	—	・洪水時対策（外壁、シャッター等で完全防水）を
13 概算事業費と財源内訳 事業スケジュール	—	1	・市の借金は、返済期間は
*計画案の全般的なもの	3	1	・施設規模（ランドマーク的な高層ビルを、一部民間に） ・周辺環境に配慮しランドマークタワー的な施設を期待 ・避難エリアの設定想定（南町、宮町）は ・八幡沖踏切を交差する市道改良を
*計画案への賛否に関する もの	1	—	・本計画では市の活性化にならない。市民にとって必要な施設か、多世代の市民の意見を聞くべき（住民投票を）
合 計	15	5	